



2025年春開館 鳥取県立美術館 ロゴ・シンボルマーク 決定

鳥取県教育委員会と鳥取県立美術館パートナーズ株式会社は、開館2年前の節目にあたり、鳥取県立美術館を象徴するロゴ・シンボルマークを発表します。

【基本デザイン（縦組み）】



【シンボルマーク デザインコンセプト】

鳥取(TOTTORI)の複数あるTを県民一人ひとりに見立て、そのTの集積によって美術館のシルエットを構成、県民が主体となる美術館を目指したデザインとなっています。TとTの隙間は、建設後の活用こそが重要である事を、隙間を埋めていく＝皆で大切に作り上げていこう、というメッセージになっており、参加しやすい「開かれた場」である事も表しています。

【製作者】

原 寿夫（はら・としお）さん（ロゴ・シンボルマーク公募 最優秀賞受賞者）

【決定の経緯】

2022年に実施した応募資格不問の公募にて、1726点の中から有識者による審査委員会が6点を選出し、LINEによる一般投票を行いました。一般投票の結果及び作者からのヒアリングの結果を踏まえ、審査委員会による最終審査で最優秀作品として選出され、デザイン調整を経て決定しました。

【デザイン展開】

シンボルマークのパターン展開、ロゴとシンボルとの組み合わせ例など、詳細については、別添資料をご確認ください。

【基本デザイン】



鳥取県立美術館

TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【シンボルマーク デザインコンセプト】

鳥取 (TOTTORI) の複数ある T を県民一人ひとりに見立て、その T の集積によって美術館のシルエットを構成、県民が主体となる美術館を目指したデザインとなっています。T と T の隙間は、建設後の活用こそが重要である事を、隙間を埋めていく = 皆で大切に作り上げていこう、というメッセージになっており、参加しやすい「開かれた場」である事も表しています。

【ロゴマーク デザインコンセプト】

文字の持つ特徴的な部分を抽出し再構築することで、高い視認性とユニークさが両立したオリジナリティのあるデザインを目指しました。長く親しみをもって活用してもらえるよう、できるだけシンプルにまとめながら、シンボルマークとデザインイメージが調和するスタイルに仕上げました。

【カラーシステム】

a ライトブルー: 爽快な空、誠実で真面目な人柄
PANTONE 2170C
CMYK : 69,21,6,0
RGB : 66,160,210

b パープル: らっきょうの花、伝統、歴史
PANTONE 2081C
CMYK : 60,72,0,0
RGB : 124,85,161

c レッド: 伝統芸能(麒麟獅子舞)の衣装
PANTONE 702C
CMYK : 4,78,32,2
RGB : 226,87,120

d ブルー: 澄み渡った海、鳥取県旗
PANTONE 2727C
CMYK : 70,47,0,0
RGB : 87,123,189

e イエロー: 輝く砂丘、みずみずしい梨
PANTONE 117C
CMYK : 6,27,100,12
RGB : 222,178,0

f グリーン: 大山のブナ林などの豊かな自然
PANTONE 625C
CMYK : 64,16,45,30
RGB : 73,134,121

【横組みバリエーション】

●A タイプ (ベーシックサイズ)



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

●B タイプ (ミドルサイズ)



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

●C タイプ (ショートサイズ)



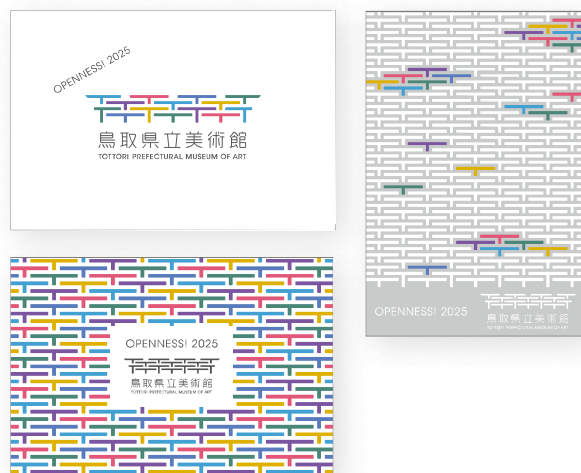
鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【展開イメージ】

▼ B2 ポスター (県内施設等に配布)



▼ ポストカード (イベント参加者等に配布)



※今後、ピンバッジなどのオリジナルグッズにも展開予定です。

【製作者 | 最優秀賞受賞者】

原 寿夫 (はら・としお) さん

兵庫県出身・在住 56歳 会社員

国内メーカーに工業デザイナーとして勤務。

個人的な活動としてこれまでに複数のロゴ・シンボルマークの公募入賞・採用実績あり。

◎応募動機

私はアートやデザイン、建築に関心があるということもあり、美術館とその建物を見に行くことが大好きで、今までに国内外合わせて30ヶ所ほど訪問してきました。また、以前勤めていた会社には鳥取事業所があり、何度も出張で来たことがあったので、鳥取県に対して親近感を持っています。そんな中、新しく計画されている鳥取県立美術館がロゴ・シンボルマークの募集を行っていることを知り、これは参加するしかない！と思いました。

◎授賞コメント

この度は、思いがけず最優秀賞という素敵な賞をいただき大変嬉しく思います。











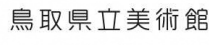





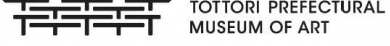



審査員の方々、そして投票に参加して下さった方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

この公募に参加すると決めた後、鳥取県の事や美術館の構想等を色々と調べていく中で、鳥取県には歴史や自然、食などの多様で豊かな個性があり、また、美術館には新しい価値を生み出そうという強い思いを感じました。そういった大切な文化や込められた志みたいなものをこのマークに反映させたいと考え、デザインを作り上げていきます。

2年後の開館に向け、このシンボルマークを目にする機会も増えていくと思いますが、自分達のマークという感覚でかわいがっていただければと思います。

これからも皆と一緒に鳥取県立美術館を作り上げていき、今までに無い全く新しい美術館にしていきましょう。私もできるだけ参加、協力していきたいと思います。兵庫から4時間かけてやって来ます！

【使用可能なデザイン一覧】

【最優秀賞 1名】

鳥取県の「T」の文字を人々に見立て構成することで「みんなでつくる」という美術館のコンセプトが表現され柔軟で可変性を許容する考えで作られた優れた作品です。多彩なものが集まり賑わうイメージは OPENNESS！を目指す鳥取県立美術館の方向性と合致しています。建築の姿と活動のコンセプトをバランスよく両立させデザインに落とし込まれている点において、群を抜いて優れていると評価し、全会一致でこの作品を選定しました。



鳥取県立美術館

TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【最優秀賞】原 寿夫（はら・としお）さん

【優秀賞 5名】

多くの素晴らしい作品が応募されたなか、1726点から最終審査に残った5名を優秀賞に選定しました。
また、LINE 一般投票で最多得票のあった作品には、優秀賞とあわせて「人気が高かったで賞」を贈ります。



Tottori Prefectural Museum of Art
鳥取県立美術館

【優秀賞】河村 葵翔（かわむら・きいと）さん



鳥取県立美術館
Tottori Prefectural Museum of Art

【優秀賞】【人気が高かったで賞】
日笠 保雄（ひがさ・やすお）さん



【優秀賞】竹内 心音（たけうち・ここね）さん



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【優秀賞】横山 勇太（よこやま・ゆうた）さん



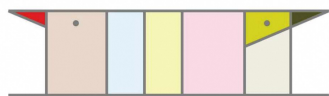
鳥取県立美術館
Tottori Prefectural Museum of Art

【優秀賞】渡辺 佳奈子（わたなべ・かなこ）さん

【審査委員特別賞5名 | こども特別賞 1名】

全応募作品のうち甲乙つけがたいユニークな作品を「審査委員特別賞」として選定しました。

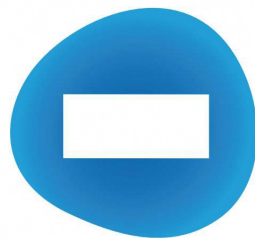
また、1名を「こども特別賞」としました。



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【審査委員特別賞 推薦：洪委員】

佐藤 恵文 (さとう・えみ) さん



鳥取県立美術館
Tottori Prefectural Museum of Art

【審査委員特別賞 推薦：島津委員】

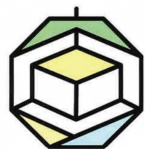
中嶋 尚孝 (なかしま・ひさたか) さん



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【審査委員特別賞 推薦：鈴木委員】

古屋 友章 (ふるや・ともあき) さん



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【審査委員特別賞 推薦：梅田委員】

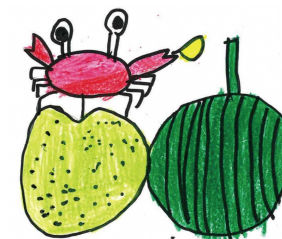
龜田 敦 (かめだ・あつし) さん



鳥取県立美術館
Tottori Prefectural Museum of Art

【審査委員特別賞 推薦：尾崎委員】

坂本 真奈花 (さかもと・まなか) さん



【こども特別賞 推薦：梅田委員】

Tさん